

特集

新型コロナ入院待機者への自宅での対応

コロナ禍において、地域によっては入院できる病床が埋まってしまう、「在宅医療の担い手が入院を待機している陽性者を自宅ケアする」といった状況が生まれています。現時点では、そうした状況下における確立した対応方法や、それを下支えする地域の仕組みなどはなく、各現場が工夫を重ねながら最適解を探っています。

本特集では、2021年6月に公開収録で行った座談会「新型コロナ入院待機者への自宅での対応」の様態を再現。各者の経験から導き出された工夫や知見を、当日の語りからさらにボリュームアップして共有します。

入院が必要だけれど入院できない陽性者への訪問看護ははじめの一歩から試行錯誤の道のりについて

●藤田愛（インタビュー：岩本大希）

在宅でのCOVID-19肺炎患者への対応

病態と評価の「いつ、何を、どれだけ、いつまでに」

●武知由佳子

COVID-19を在宅でみるための仕組みづくり

今から備えておくこと

●小倉和也

特別記事

ぶどうパンが吹かした風

新型コロナウイルス感染症に挑む訪問看護師藤田愛さんの記録

●村上靖彦／三浦麻子

※一部変更となることがあります。

編集後記

今 特集は、特に栄養（心身の！）に着目したものでした。連載「判断カトレーニング」も、実は栄養が裏テーマであったりします。文献を確認していく中で気付いたのは、多くのガイドライン等にウェブで当たれること。この領域の最前線で研究を重ねている方々の「太っ腹」をひしひしと感じました。掘り下げがいのある栄養というテーマ。今回は退院後の2週間に焦点を当てましたが、別の切り口でも取材を続けたいと思います。……米沢

2 週間って長いようであつたという間です。在宅医療にも、短期にガガッと攻めていかねばならぬときがあることを本特集で学びました。それにしても、勝見さん＆川田さんが紹介されている在宅退院早期在宅集中ケアチーム「ZIC」ってカッコいいですねえ。こうしたネーミングをすることが、退院直後から攻める必要性の共通理解をスタッフへと浸透させる効果があるのだらうなとも想像します。▶ 今月から新連載「スペシャリストの現場思考」がスタート。「普段、相談に応じている立場の人（＝これをスペシャリストとしています）は普段、現場の現場ではどんなことを考えながら動いているのか」を知ろうというのが、ざっくりとした狙いの連載です。ぜひご覧ください。……小池

訪問看護と介護 第26巻 第7号（通巻301号） 2021年7月15日発行（毎月1回15日発行）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 2021, Printed in Japan

1部定価：1,650円（本体1,500円＋税10%）

販売・PR部：☎03-3817-5659 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：小池・米沢・伊藤

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango Facebook @houmonkangotokaiga

医学書院ホームページ <https://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動含む）で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構委託出版物

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

*「訪問看護と介護」は株式会社医学書院の登録商標です。